

加古川市国民健康保険データヘルス計画

平成28年度～平成29年度

概要版



“ウェルピー”

ウェルネス都市
シンボルキャラクター

平成28年3月

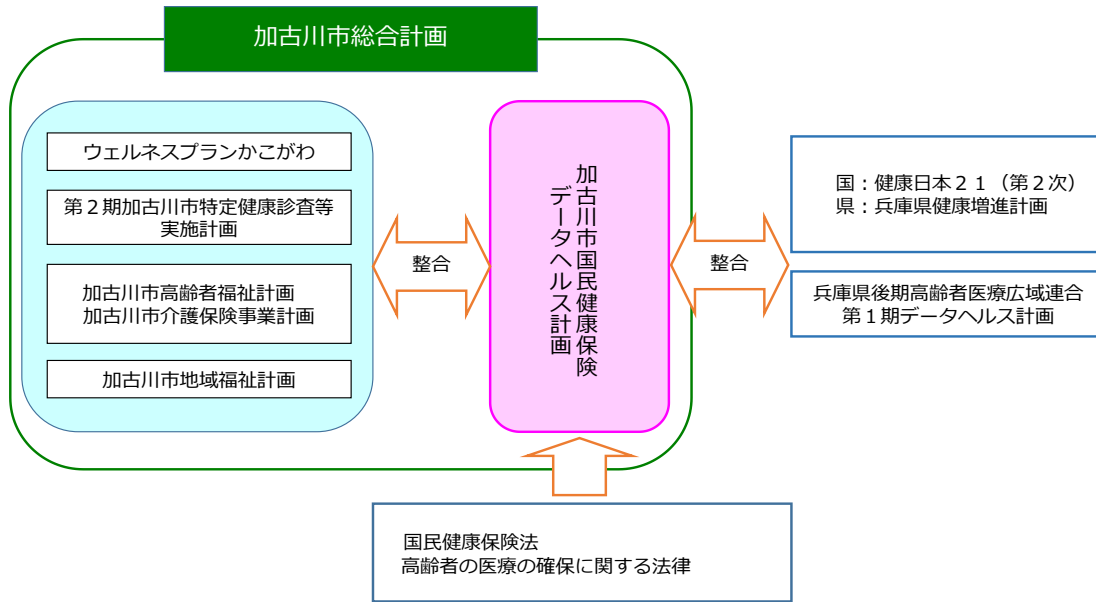
加古川市

計画の目的と背景

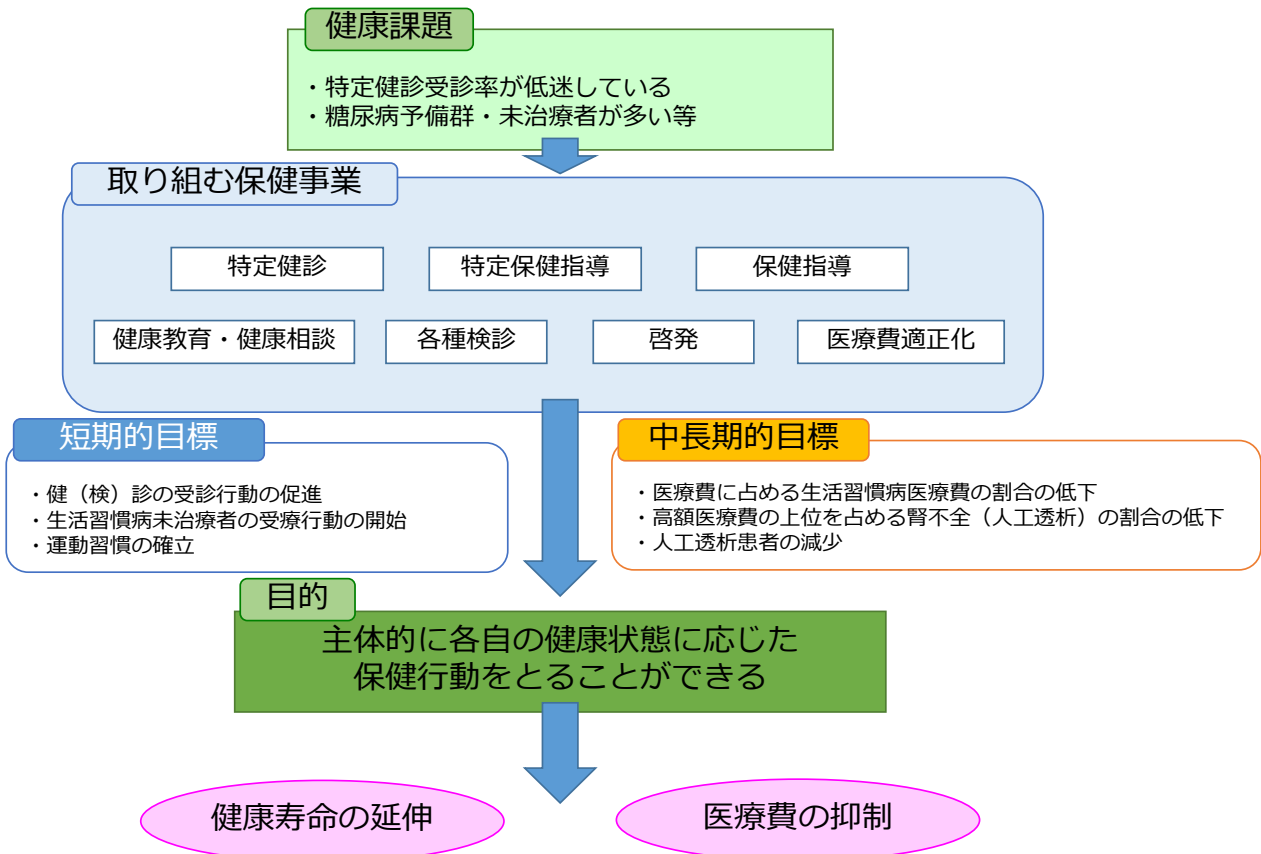
国民健康保険法第82条第4項の規定による「国民健康保険法に基づく保健事業の実施等に関する指針」が平成26年3月に改正され、保険者は健康や医療に関する情報を活用し、PDCAサイクルで効率的・効果的に保健事業を実施するための計画（以下「データヘルス計画」という。）を策定し、保健事業の実施・評価を行うことになりました。

この背景を踏まえ、加古川市では国民健康保険被保険者の健康寿命の延伸と医療費の抑制を目的として、診療報酬明細書（レセプト）や特定健診の受診状況などを分析し、健康課題に即したより効率的、効果的な保健事業の展開を図るための実施計画として、このデータヘルス計画を策定しました。

1 計画の位置づけ



2 計画の概念図



3 計画の期間

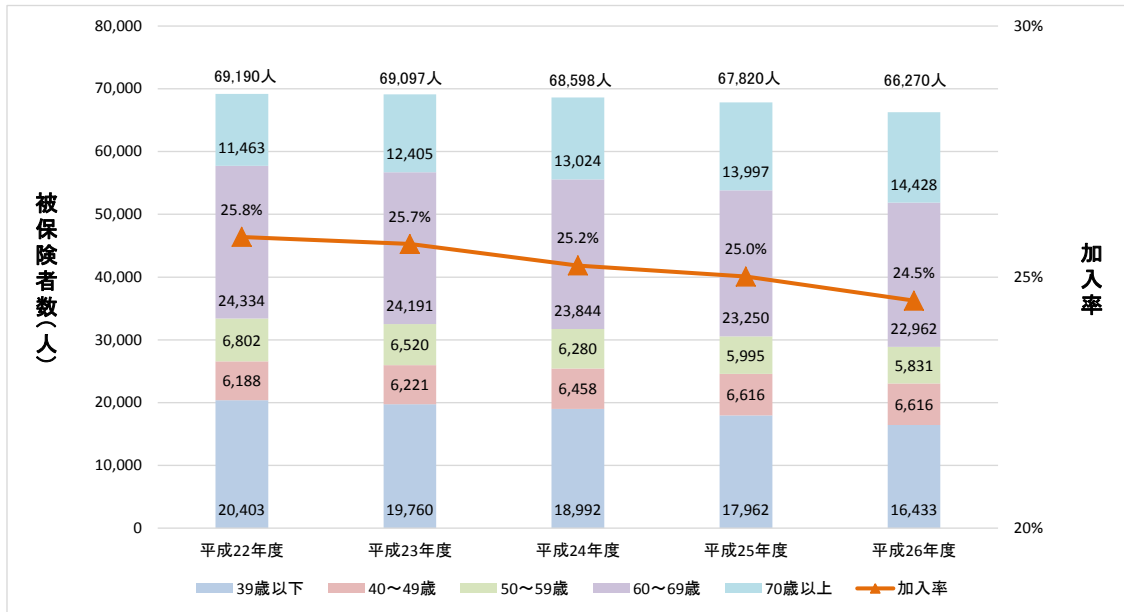
計画期間は、平成28年度から平成29年度までの2年間です。

平成27年度	平成28年度	平成29年度
策定	実施	見直し

4 加古川市国民健康保険の状況

1 加古川市国民健康保険の加入状況

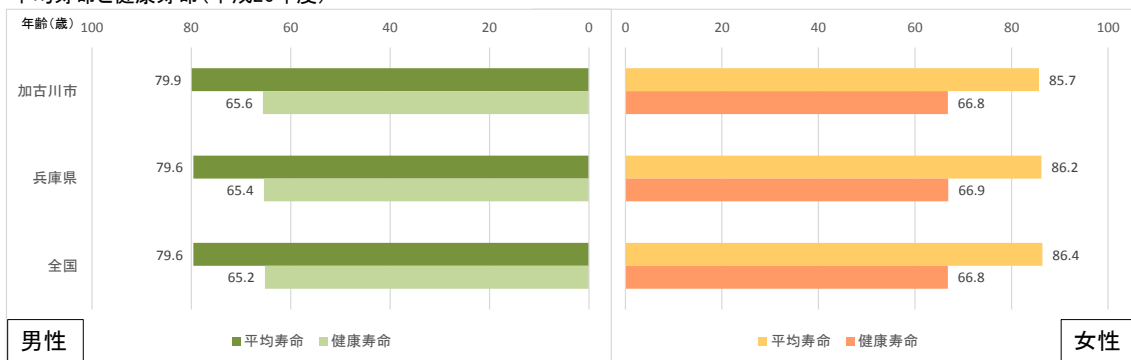
被保険者数・加入率は徐々に減少していますが、70歳以上の被保険者数は増加傾向にあり、今後もさらなる増加が見込まれます。



2 平均寿命と健康寿命

平均寿命と健康寿命の差は、介護等の手助けが必要な期間の長さを意味します。男性では14.3歳、女性では18.9歳となっており、兵庫県・全国と比較して女性は0.5歳程度短くなっています。

平均寿命と健康寿命(平成26年度)

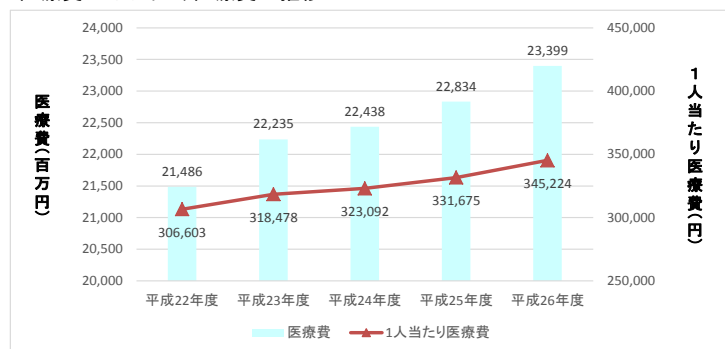


3 医療費の推移

医療費と1人当たり医療費は、年々増加しています。

1人当たり医療費は、兵庫県平均より低いです。全国平均より高い状況です。

医療費と1人当たり医療費の推移



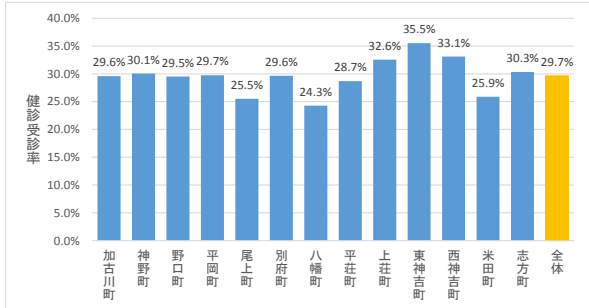
5 健康・医療情報の分析と課題の把握

1 特定健診の受診率

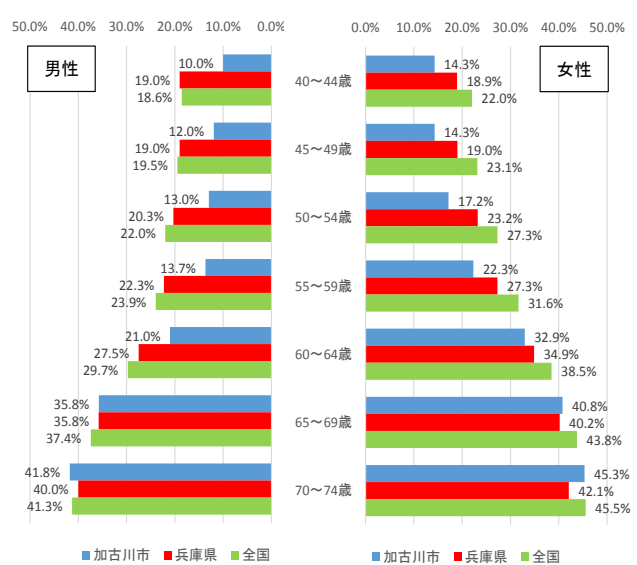
特定健診受診率は低迷しており、受診率の低い地域や年代があります。

40～50歳代（特に男性）の受診率は兵庫県、全国平均と比較して低い状況です。

町別受診率比較（平成26年度）



性・年齢別受診率比較（平成26年度）

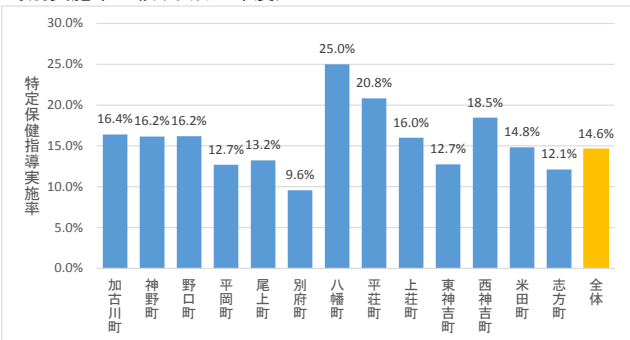


2 特定保健指導の実施率

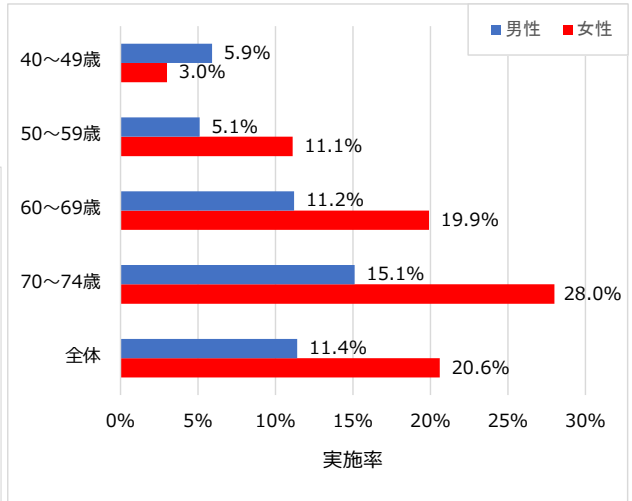
特定保健指導の実施率は、町別、性・年齢別ともに大きな差があります。

性・年齢別実施率は、40～49歳では男性が高く、50歳以上は、女性の方が高くなっています。

町別実施率比較（平成26年度）



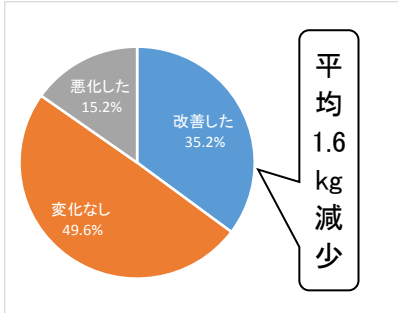
性・年齢別実施率比較（平成26年度）



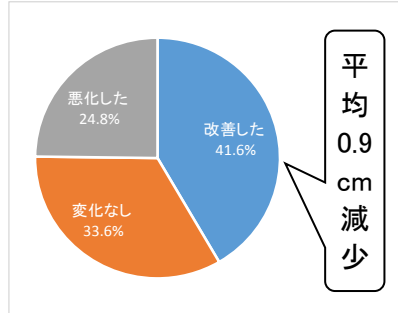
3 特定保健指導の実施結果

特定保健指導実施者は実施後の特定健診結果で、体重、腹囲、総合判定値結果において改善効果が見られました。

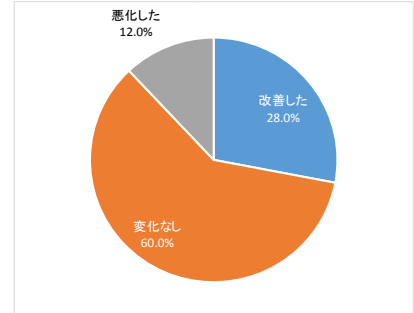
体重（平成26年度）



腹囲（平成26年度）



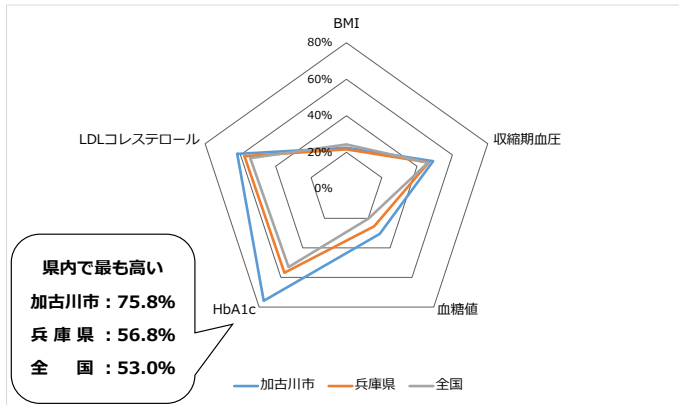
健診総合判定値結果（平成26年度）



4 検査項目別の健診有所見者割合

特定健診受診者のうち、HbA1cの有所見者割合は、県内で最も高い状況です。

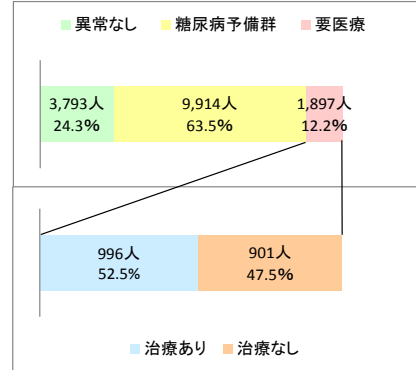
健診有所見者別割合比較(平成26年度)



5 糖尿病リスクと医療機関の受診状況

特定健診受診者のうち、63.5%が糖尿病予備群です。また、要医療であるにもかかわらず、糖尿病の治療を行っていない者の割合は、47.5%です。

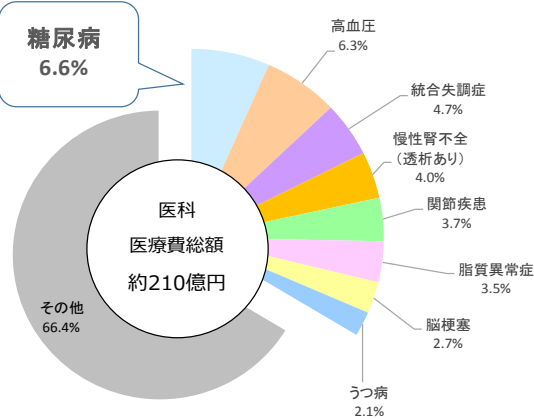
糖尿病リスクと医療機関の受診状況比較(平成26年度)



6 医療費からみた疾病構造

加古川市国保の医療費(歯科除く)のうち、占める割合が最も多い疾病は糖尿病です。

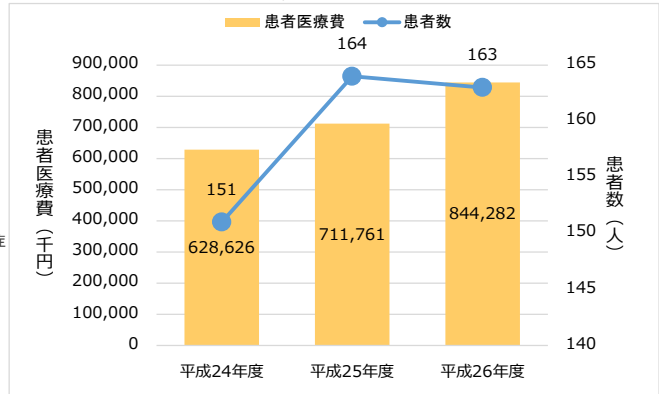
疾病構造比較(平成26年度)



7 人工透析患者と医療費の状況

患者数は横ばいの状況となっていますが、年間20名以上の新規導入患者がいます。また、医療費は上昇傾向にあります。

人工透析患者数と医療費比較(平成26年度)

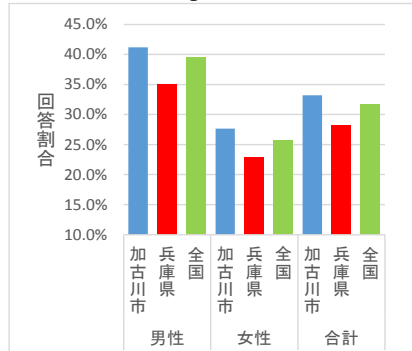


8 生活習慣の状況

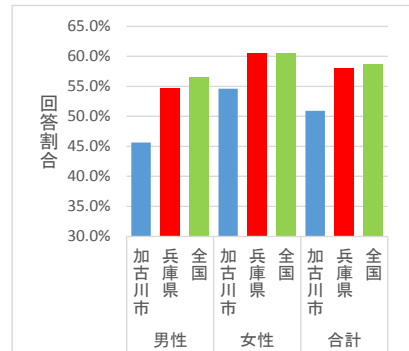
特定健診受診者では、体重増加について、20歳の時から10kg以上増加している者の割合が、男女とも兵庫県、全国平均を上回っています。また、運動習慣は、市全体では約50%の者に運動習慣がない状態で、男性より女性で運動習慣のない者が多いです。

食習慣、睡眠習慣、喫煙習慣、飲酒習慣については、兵庫県、全国平均と比較すると、良い習慣の者の割合が多い状況です。

20歳時体重から10kg以上増加(平成26年度)



1回30分以上の軽く汗をかく運動習慣なし(平成26年度)



6 健康課題の明確化と保健事業について

課題

1 特定健診受診率が低迷している ・受診率が低い地域がある ・40～50歳代(特に男性)の受診率が低い	① ④ ⑥
--	-------------

2 HbA1cの有所見者割合が多い(県内で最も多い) ・HbA1cの有所見者割合が7割以上を占めている ・HbA1cの有所見者のうち、8割以上が糖尿病予備群となっている ・疾病別医療費の1位は糖尿病である	② ③ ④ ⑦
--	------------------

3 糖尿病重症化のリスクが高い者が多い ・糖尿病を未治療である者が多い ・人工透析新規導入者が毎年20名以上である ・高額医療費の上位を腎不全が占めている	② ③ ④ ⑥ ⑦
---	-----------------------

4 がん検診受診率が低い ・各種がん検診受診率が全国平均を下回っている ・悪性新生物は、死因の第1位であり医療費に占める割合も多い	⑤ ⑥ ⑦
--	-------------

5 歯科疾患の医療費が高い ・歯科疾患の医療費が県と比較して高い ・9歳以下の被保険者のう蝕における医療費が県と比較して高い	⑤ ⑥ ⑦
---	-------------

6 運動習慣がない者が多く、メタボ該当者が多い ・運動習慣がない者が5割を占め特に女性が多い ・20歳時体重から10kg以上増加している者の割合が県、国より高い	② ③ ④ ⑥
---	------------------

課題解決に向けた今後の取り組み

項目	目的
① 特定健診	被保険者が特定健診を受診し、自らの健康づくりに主体的に取り組むことができる
② 特定保健指導	対象者が特定保健指導を利用し、健康状態の改善を図ることで生活習慣病の発症を予防できる
③ 保健指導	対象者が生活習慣病のリスク状態に応じて、治療を継続したり、生活習慣を改善することで、健康状態の悪化を予防できる
④ 健康教育・健康相談	市民が健康づくりや特に糖尿病の予防に関心を持ち、健康的な生活習慣を送ることで、生活習慣病の発症を予防できる
⑤ 各種検診	市民ががん検診、歯周疾患検診等を受診し、異常を早期発見する
⑥ 啓発	市民が健康づくりに関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組むことができる
⑦ 医療費適正化	被保険者が当事者として健全な医療保険制度の運営に関心を持つ

取り組み	対象者
1 特性別受診勧奨通知の送付【新規】	特定健診受診経験者で、当該年度において特定健診を未受診の者
2 受診率の低い地域における巡回健診【拡充】	加古川市国民健康保険の被保険者(30～74歳)
3 店舗前での出張健康相談【新規】	加古川市民 (特に、受診率の低い年代・地域の対象者、特定健診未経験者)
4 特定健診受診等によるインセンティブ制度の導入【新規】	加古川市国民健康保険の被保険者(30～74歳)
5 医療機関等へ受診勧奨ポスターの掲示【継続】	加古川市国民健康保険の被保険者(30～74歳)
6 30代、年度途中国民健康保険加入者へ特定健康診査に準ずる健康診査の実施【継続】	加古川市国民健康保険の被保険者 (30代、年度途中国民健康保険加入者)
1 特定健診当日保健指導【拡充】	特定健診(集団健診)受診者のうち、体重・腹囲・血圧が保健指導判定値を超えており、高血圧・糖尿病・脂質異常症の治療がない者
2 加古川市ウォーキング手帳の利用【新規】	特定保健指導対象者
3 運動(ウォーキング等)教室の実施【継続】	特定保健指導対象者
4 未利用者に対する案内の送付による利用勧奨【継続】	特定保健指導対象となっている未利用者
5 未利用者に対する電話による利用勧奨【継続】	特定保健指導対象となっている未利用者
1 特定健診要医療者受診勧奨訪問指導【新規】	特定保健指導対象外の者等で、特定健診結果により、高血圧・脂質異常症・糖尿病未治療者のうち、HbA1cが ≥ 8.0 以上の者
2 特定健診要医療者受診勧奨電話指導【拡充】	特定保健指導対象外の者等で、特定健診結果により、高血圧・脂質異常症・糖尿病未治療者のうち、HbA1cが ≥ 6.5 以上の者及びⅡ度以上の高血圧の者
3 糖尿病教室の開催【新規】	特定保健指導対象外の者等で、特定健診結果により、高血圧・脂質異常症・糖尿病未治療者のうち、HbA1cが ≥ 6.0 以上の者
1 健康に関する医師・保健師等の講演会の実施【継続】	加古川市民(健康増進事業として実施)
2 希望団体等へ生活習慣病やがん予防等の健康教育の実施【継続】	加古川市民(健康増進事業として実施)
3 各公民館等で保健師・栄養士等の健康相談の実施【継続】	加古川市民(健康増進事業として実施)
4 健康教育時における啓発活動【新規】	加古川市民(健康増進事業として実施)
1 健康増進法に基づく各種がん検診(胃・肺・大腸・子宮・乳)、胃がんリスク検査(ABC分類)、歯周疾患検診等の実施【継続】	加古川市民(健康増進事業として実施)
2 がん検診無料クーポン券(子宮・乳)の送付【継続】	加古川市民がん検診無料クーポン券(子宮・乳)対象者 (健康増進事業として実施)
3 国民健康保険がん検診無料クーポン券(胃・肺)の送付【継続】	国民健康保険がん検診無料クーポン券(胃・肺)対象者
4 国民健康保険がん検診無料クーポン券の利用勧奨【新規】	国民健康保険がん検診無料クーポン券対象者で未利用の者
5 人間ドック費用助成の実施【継続】	加古川市国民健康保険の被保険者(30～74歳)
1 関係団体・地域団体へデータヘルス計画の周知【新規】	関係団体(保健福祉関連団体、地域団体等)
2 庁内関係課へデータヘルス計画の周知【新規】	加古川市職員
3 イベント等における普及啓発【拡充】	加古川市民
4 知的インフラの整備【新規】	加古川市民
5 ホームページの充実【拡充】	加古川市民
6 広報特集記事の掲載【拡充】	加古川市民
1 医療費通知【継続】	加古川市国民健康保険の被保険者のうち、医療機関の通院等により医療費の発生した者
2 後発医薬品利用促進【継続】	加古川市国民健康保険の被保険者のうち、後発医薬品への切替えにより一定額以上の薬剤費の削減が見込まれる者

加古川市国民健康保険データヘルス計画
平成28年度～平成29年度
概要版

編集・発行 加古川市 市民部 国民健康保険課
〒675-8501
加古川市加古川町北在家2000番地
TEL 079-421-2000
FAX 079-424-1371